思いっきり!!南河内　管内農業最新情報



南河内普及だより

農の普及課
11
2026
Vol.215

松原市、藤井寺市、羽曳野市、富田林市、河内長野市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村

「大阪産(もん)フェスタ×旬のフルーツマルシェ@KITTE大阪」を開催しました！

大阪府情報

南河内地域は、府内でも果樹栽培が盛んな地域であり、特にぶどうやいちじくは全国有数の生産量を誇ります。大消費地に近いという立地を活かし、新鮮な果実を消費者に届けられることが大きな魅力です。例えば、いちじくは朝採りの完熟果実が出荷されるため、豊かな甘みと香りを楽しむことができます。

こうした南河内産フルーツの魅力を多くの方に知っていただくため、8月29日(土)と9月5日(土)の2週にわたり、「大阪産(もん)フェスタ×旬のフルーツマルシェ@KITTE大阪」を開催しました。

今回は、生産者自らが店頭に立って販売を行い、栽培方法やこだわりなどを消費者に直接伝えました。2日間で900人以上の方にご購入いただくなど、イベントは大盛況でした。普段は対面で販売する機会の少ない大阪市内で、南河内産フルーツのおいしさや生産者の思いを広く発信することができ、地域の魅力をPRする貴重な機会となりました。



【8/29イベント様子】



【9/5イベント様子】

農薬の適正使用をお願いします！

大阪府情報

農林水産省では、農薬の使用に伴う事故・被害を防止するため、毎年6月から8月にかけて、厚生労働省等と共同で「農薬危害防止運動」を実施しています。

令和8年度は、「使用前、周囲よく見て ラベル見て」をテーマに、農薬ラベルの表示事項の遵守や周辺環境への農薬の飛散防止の徹底について啓発が行われました。

運動期間は終了しましたが、農薬の安全かつ適正な使用は年間を通じて重要です。二次元コード先のチェックシートを活用して適正使用に努めていただくとともに、不明な点があれば、農薬の購入・使用前に当課やJA等の農薬販売店にお問い合わせください。

【チェックシート(農林水省)】

高温障害にお悩みの方必見!! 大阪府内水稲生産者の皆様に!!
水稲土づくりシンポジウムを開催します!!

JA全農大阪情報

【日時】令和8年11月30日(月) 14:00～16:30 ※13:30開場

【会場】グランキューブ大阪10階1004－1007会議室

【定員】約270名 (※先着順のため定員に達し次第〆切)

【講演】〇株式会社ファーム・フロンティア 藤井 弘志氏

テーマ:高温障害に負けない水稲生産のための「土づくり」

〇大阪府立環境農林水産総合研究所 岩本 百合香氏

テーマ:大阪府での水稲栽培における高温登熟障害と対策

参加費 無料

申込方法↓

上記二次元コードを読み取り、お申し込みください。

大阪府 南河内農と緑の総合事務所 農の普及課
〒584-0031 富田林市寿町2－6－1 南河内府民センタービル内
TEL0721(25)1131(代表) FAX0721(25)0425
メール: minamikawachinotomidori-g04@sbox.pref.osaka.lg.jp

令和8年11月発行 第215号

事務所HP　バックナンバー

思いっきり!!南河内　果樹栽培情報



南果連だより

南河内フルーツ

農の普及課
11
2026
Vol.215

果樹の施肥について



果樹の施肥は、樹勢を適正に保ち、良質で安定した果実を生産するために重要な管理作業です。一般的には、収穫後のお礼肥と発芽前の元肥を中心に施用します。また、生育期間中は樹勢や着果量に応じて追肥を行い、果実の肥大や樹体の生育を促します。窒素(N)は新梢の伸長を促しますが、過剰施用は着色不良や糖度低下を招くため注意が必要です。リン酸(P)は根の発達や花芽形成を助け、カリ(K)は果実の肥大や品質向上に関わります。

また、堆肥などの有機物の施用は土壌の保水性や通気性を改善し、根の健全な生育につながります。施肥量は樹齢や品種、土壌条件によって異なるため、土壌分析結果や樹の状態を参考に適正量を施用しましょう(下表参照)

大阪府では、府内の家畜堆肥の流通促進を図るため、府内の堆肥生産情報を掲載した「大阪府家畜堆肥マニュアル」「大阪府家畜堆肥マップ」を作成しています。環境に優しい有機質肥料として、府内産堆肥を利用の際は参考にしてください。

【大阪府家畜堆肥利用マニュアル・マップ】

品目(品種)	施肥のタイプ	10a当たり成分量(kg) ※成木を想定			備考
		窒素(N)	リン酸(P)	カリウム(K)	
ぶどう	元肥	8	8	8	・根域制限栽培の場合、一度に施用すると障害が発生するため分けて施用してください。
	追肥	—	—	—	
いちじく(桝井ドーフィン)	元肥	11	12	7.5	・カルシウムの吸収量が多いため、苦土石灰(100～200kg/10a)を施用してください。
	追肥	4	3	7	
かんきつ(温州みかん)	元肥	9	5.5	5.5	・窒素過多になると果実品質の低下に繋がります。特に、裏年の窒素過多に注意してください。
	追肥	13	8	8	
もも	元肥	12	9	12	・収穫後にはお礼肥(元肥の20～30%)をすることで、樹勢が安定し次年度の収量が期待できます。
	追肥	—	—	—	

微量要素について

微量要素は作物にとって、わずかな量しか必要ありませんが、呼吸・光合成・窒素代謝・植物ホルモンの生合成など、植物の基本的な活動においてそれぞれ重要な役割を担っています(下表参照)。

微量要素は、ただ土壌に供給するだけではなく、吸収のしやすさに影響する要因を考慮することで、効率のよい吸収につながります。たとえば、土壌のpHが7を超えてアルカリ性になると、重金属元素の溶解度が低下するため、鉄やマンガンなどの吸収が低下します。また酸性土壌では、モリブデンが不可給化(土壌中の栄養素が吸収しにくくなる状態)するため、欠乏症が発生しやすくなります。また、微量要素間にも拮抗作用があります。たとえば、カリウムが多いと苦土の吸収が抑えられ、苦土が多いとカリウムの吸収が抑えられます。

このような点を意識して、適正なpHや養分バランスのとれた土壌づくりを行うことで、微量要素欠乏による障害の発生防止につなげることができます。

土壌分析をもとに施肥量を設計する際は、過不足ばかりに目を向けず、バランスのよい土壌づくりを心がけましょう。

【表】代表的な微量要素

種類	関与する作用
マンガン(Mn)	光合成、酵素活性、リグニン合成
亜鉛(An)	植物ホルモンの生成、新梢の生育
鉄(Fe)	葉緑素の生成、光合成
ホウ素(B)	花粉の発芽や花粉管の伸長

大阪府　南河内農と緑の総合事務所 農の普及課
〒584-0031　富田林市寿町2－6－1　南河内府民センタービル内
TEL0721(25)1131(代表) FAX0721(25)0425
メール: minamikawachinotomidori-g04@sbox.pref.osaka.lg.jp

令和8年11月発行　第215号

事務所HP　バックナンバー